

つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路

釧路市まちづくり基本構想

2018年度 ～ 2027年度

釧 路 市

「つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路」を目指して



釧路市は、阿寒湖や釧路湿原をはじめ豊かな自然環境、多様な文化を有するとともに、ひがし北海道の拠点として発展し、その先進性、可能性に国内外からの注目を集めています。そして市民は郷土釧路に愛着を感じ、誇りを持っています。

本市はこれまで、数次にわたる総合計画のもとで、市民生活の向上や都市基盤の整備・充実を図り、都市の魅力を高めてきました。その一方で、水産業や石炭産業など地域産業の低迷から昭和50年代に減少に転じた人口は、若い世代の転出による社会減が依然として続いており、様々な業種における人手不足や、生産力の低下、地域コミュニティの弱体化など課題への対応が急務となっています。

釧路市まちづくり基本構想では、これまで進めてきた財政健全化や市役所改革、域内循環や外から稼ぐ力の強化といった都市経営戦略プランの考え方を基本とし、より幅広く“まち”と“ひと”がつながりを強めて力を結集していく「域内連関」に取り組むこととしており、このまちにある様々な資源の魅力や価値をさらに高め、地域経済のプラス成長を図っていくことで、安心して暮らし続けられる地域社会を築き、夢と希望にあふれる“みらい”を次の世代へと引き継ぐことができるまちづくりが可能になるものと確信しております。

まちづくり基本構想の策定に当たり、ご尽力を賜りました基本構想策定市民委員会委員の皆様をはじめ、各種アンケートや審議会、シンポジウムなどにご協力いただいた多くの方々に心から感謝を申し上げますとともに、まちづくり基本構想の推進に際しましても、市民の皆様や関係各位の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018(平成30)年3月

釧路市長 蝦名大也

目次

【 構想編 】

1	はじめに	1
(1)	策定の目的	1
(2)	釧路市まちづくり基本構想の位置付け	1
(3)	期間・推進方法	2
2	釧路市の概況	3
(1)	地勢	3
(2)	沿革	3
(3)	都市経営の視点によるまちづくり	4
3	釧路市の課題	5
(1)	人口	5
(2)	経済産業	8
(3)	住民生活	13
(4)	財政運営	19
4	目指すべきまちづくり	22
(1)	目指すべきまちづくり	22
(2)	目指すべきまちづくりを実現するための考え方	22
(3)	都市空間利用の基本方向	24
(4)	人口指標	25
5	まちづくり基本方針	26
(1)	まちづくり基本方針1 未来を担う子どもを育てるまちづくり	26
(2)	まちづくり基本方針2 すべてのひとが活躍できるまちづくり	26
(3)	まちづくり基本方針3 地域の経済と産業が雇用を支えるまちづくり	27
(4)	まちづくり基本方針4 誰もが安全に安心して暮らせるまちづくり	27
(5)	まちづくり基本方針5 自然と都市とが調和した持続可能なまちづくり	28

【 計画編 】

6	重点戦略	29
(1)	まちの活力を高める経済活性化戦略	31
(2)	地域経済を担う人材育成戦略	32
(3)	経済活動を支える都市機能向上戦略	33
7	分野別施策	35
	第1章 福祉・安全安心	35
	第1節 子育て	35
	第2節 保健・医療	37
	第3節 地域福祉	39
	第4節 高齢者福祉	40

第5節	障がい者・児福祉	42
第6節	社会保障	44
第7節	防災・消防	47
第8節	交通安全・防犯	49
第9節	消費生活	50
第2章	環境・教育・文化	51
第1節	環境保全・野生生物	51
第2節	共生	53
第3節	交流・平和	55
第4節	生涯学習	57
第5節	学校教育	59
第6節	文化・芸術	61
第7節	スポーツ	63
第3章	経済・産業	65
第1節	農業	65
第2節	林業・木材産業	67
第3節	水産業	68
第4節	鉱工業	70
第5節	観光	71
第6節	商業・中小企業	73
第7節	産業支援・企業誘致	75
第8節	雇用・労働	77
第4章	都市構造・都市基盤	79
第1節	持続可能なまちづくり	79
第2節	道路・河川	82
第3節	港湾・空港	84
第4節	住宅	86
第5節	水道・下水道	87
第6節	公園	89
第7節	ごみ処理	90
第5章	市民協働・行財政運営	91
第1節	市民協働	91
第2節	行財政運営	93
【資料編】		
8	策定の経過	95
9	市民参加の取り組み	97
10	関連要綱	101